

Makita

取扱説明書

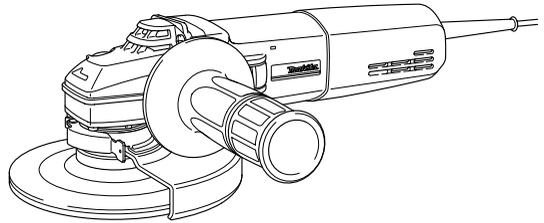
電子ディスクグラインダ

□	100mm モデル	9560C
---	-----------	--------------

□	100mm モデル	9560CV (変速付)
---	-----------	------------------------

□	125mm モデル	9565C
---	-----------	--------------

□	125mm モデル	9565CV (変速付)
---	-----------	------------------------



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**電子ディスクグラインダ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

モデル 主要機能	9560C	9560CV	9565C	9565CV
電動機	直巻整流子電動機			
電圧	単相交流 100V			
電流	12A		15A	
周波数	50-60Hz			
消費電力	1,100W		1,400W	
回転数	10,500min ⁻¹ (回転 / 分)	2,800 ~ 10,500 min ⁻¹ (回転 / 分)	10,500min ⁻¹ (回転 / 分)	2,800 ~ 10,500 min ⁻¹ (回転 / 分)
砥石寸法	外径 φ100mm × 厚さ 4mm × 内径 φ15mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)		外径 φ125mm × 厚さ 6mm × 内径 φ22mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)	
長さ	289mm		299mm	
質量	2.0kg		2.1kg	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-17

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ディスクグラインダ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB005-2

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. ホイールカバーは、必ず取り付けて使用してください。
 - ・ 砥石やダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。
3. 使用するオフセット砥石は、最高使用周速度 72m/s (4300m/min) 以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
 - ・ 正規以外の砥石を使用したり、また側面や上面で研削すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ 異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. 使用中は、本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
6. 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・ 乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
7. ジグザグ切断、曲面切り、(ガイドを使わない) 斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
 - ・ これらの使用方法ではホイールが破損し、大けがの原因になります。
8. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 砥石やダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。
9. 使用中は、砥石などの工具類や回転部、研削粉などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災ややけどの原因になります。
11. 砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石を使用してください。
 - ・ 切断砥石以外の砥石は、けがの原因になります。
12. 切断砥石を使用する場合は、切断砥石専用のホイールカバー、フランジを取り付けてください。
 - ・ 切断砥石が破壊したとき、けがの原因になります。

⚠ 警告

13. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
14. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
15. [事業者の方へ] 砥石の取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法案	労働安全衛生規則	第 36 条
	労働安全特別教育規定	第 1 条、第 2 条

⚠ 注意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 試運転を励行してください。
 - ・ 試運転時間は

〔	砥石交換のとき	3 分以上	〕	です。
	その日の作業始めのとき	1 分以上		
 - ・ 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
 - ・ 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

注

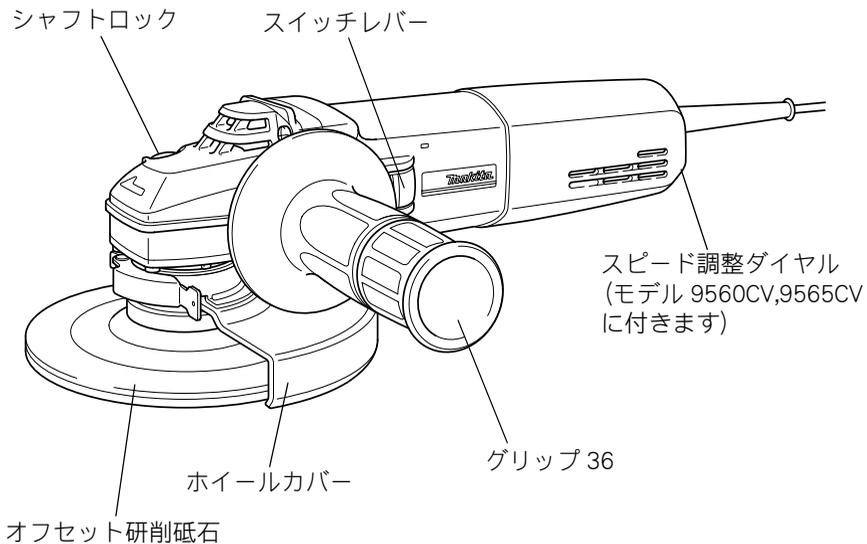
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.00mm ²	50m	30m	20m

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品

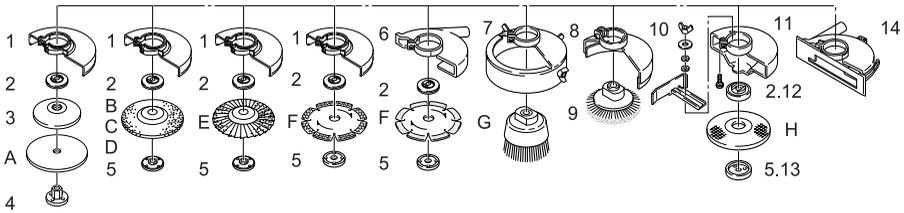


標準付属品

モデル	9560C	9560CV	9565C	9565CV
標準付属品	部品番号			
オフセット研削砥石 (粒度 36P)	A-23575		A-23597	
ロックナットレンチ	782401-1		782407-9	
グリップ 36	152490-4		152490-4	

別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。



図番	モデル	9560C	9560CV	9565C	9565CV
	別販売品	部品番号			
1	ホイールカバー	135119-7		135120-2	
2	スーパーフランジ	193750-5		192431-8	
3	ラバーパット	A-13378		743015-1	
4	ロックナット (サンディングディスク用)	224502-4		224523-6	
5	ロックナット	224558-7		224546-4	
6	集じんアタッチメント	192475-8		192618-2	
7	カップワイヤブラシ用ホイールカバー	192454-6		-	
8	ベベルワイヤブラシ用ホイールカバー	192412-2		-	
9	ベベルワイヤブラシ	A-22355		-	
10	ベースアッセンブリ	123059-1		-	
11	ホイールカバー (切断砥石用)	192476-6		-	
12	インナフランジ (切断砥石用)	224321-8 (刃物内径 20mm 用)		-	
13	ロックナット (切断砥石用)	224560-0 (刃物内径 20mm 用)		-	
14	ホイールカバー (集じん用)	-		192972-4	
A	サンディングディスク	詳細は当社総合カタログを参照ください。			
B	研削砥石				
C	フレキシブル砥石				
D	フレキシブル砥石 (非金属)				
E	マルチディスク				
F	ダイヤモンドホイール				
G	カップワイヤブラシ				
H	切断砥石				

別販売品のご紹介

- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)

部品番号 191686-2

- ・ 口元ロック式ホース (当社の集じん機に接続できます。詳細は当社総合カタログを参照ください。)

部品番号 A-34235 (φ28mm × 1.5m)

部品番号 A-34229 (φ28mm × 5.0m)

- ・ エルボジョイント 32 (モデル 9565C,9565CV の集じん機接続用)

部品番号 192613-2

使い方

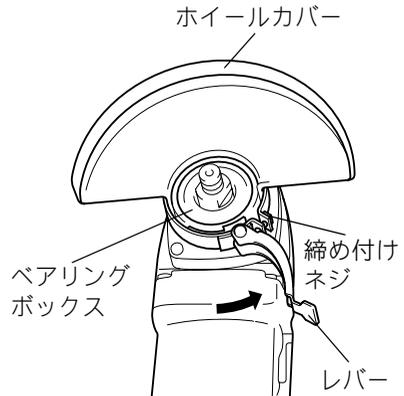
ホイールカバーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ホイールカバーの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

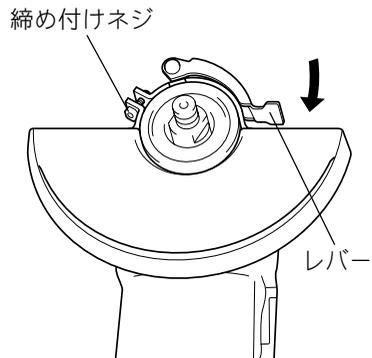
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ 締め付けネジをゆるめ、レバーを開きます。
- ・ ホイールカバーの凸部とベアリングボックスの凹部を合わせ、ホイールカバーをベアリングボックスにはめ込んでください。
- ・ ホイールカバーを矢印の方向に180度回し、レバーを閉じて、ネジを締め付けて固定してください。
- ・ 作業に合わせてレバーを開き、ホイールカバーの位置を調整し、レバーを閉じることでホイールカバーの位置が調整可能です。



取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。



使い方

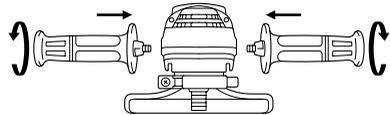
グリップの取り付け方

⚠ 警告

グリップの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

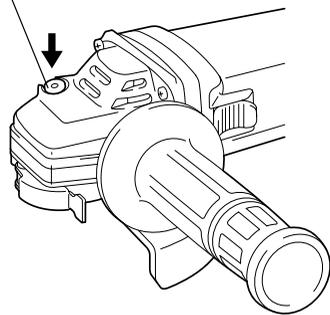
- ・ グリップは本機の2箇所に取り付けが可能です。作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。



シャフトロックの操作

- ・ 付属品の取り付け・取りはずしに使用します。シャフトロックを押し込み、シャフトの回り止めをしてください。

シャフトロック



注

- ・ 回転させたままシャフトロックを押さえないでください。故障の原因になります。

使い方

オフセット研削砥石の取り付け・取りはずし方

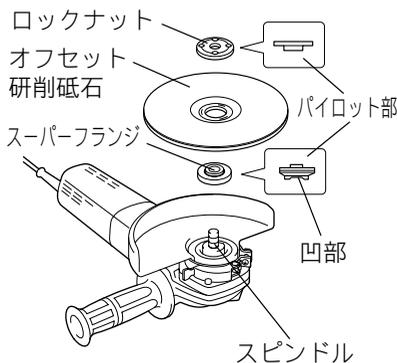
⚠ 警告

オフセット研削砥石の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

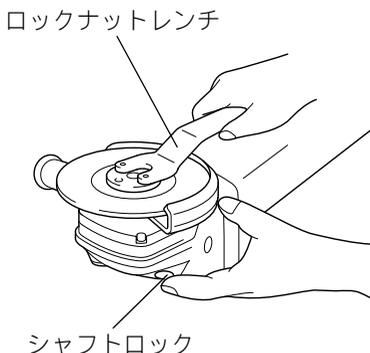
取り付け方

- ・ スピンドルを上に向け、スーパーフランジの凹部をスピンドルの切り欠け部に合わせてはめ込んでください。
- ・ オフセット研削砥石の凹部を上にして内径をスーパーフランジのパイロット部にはめ込んでください。
- ・ ロックナットのパイロット部（凸部）を砥石側にしてスピンドルにねじ込んでください。
- ・ シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。



取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。



使い方

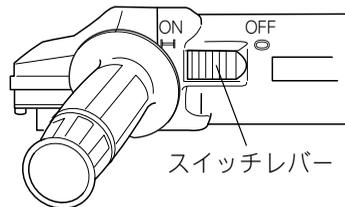
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

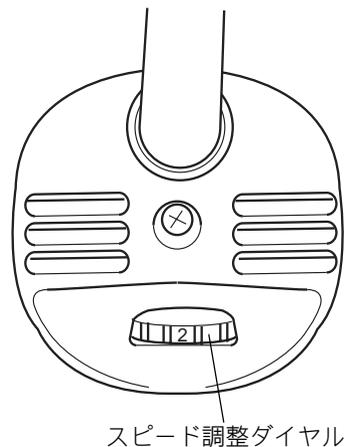
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチはスイッチレバーを「I」側にスライドさせると入ります。その状態からスイッチレバーの前部を押すと、固定され連続運転します。停止するには、スイッチレバー後部を押して「O」側にスライドすると切れます。



スピード調整ダイヤルの操作（モデル 9560CV,9565CV のみ）

- ・ スピード調整ダイヤルを回すことにより回転数が自由に変えられます。
- ・ スピード調整ダイヤルを「5」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。



使い方

- ・ スピード調整ダイヤル数値と回転数の関係は右図のとおりです。

スピード調整ダイヤル数値	回転数 min ⁻¹ (回転/分)
1	2,800
↷	↷
2	4,000
↷	↷
3	6,500
↷	↷
4	9,000
↷	↷
5	10,500

材料・作業内容にあわせて適切な回転数を選択してください。

材料	作業内容	先端工具	選択ダイヤル
プラスチック	ポリッシング 仕上研削	羊毛ボンネット ポリッシングフェルト	1
金属	仕上研削 ペイント	ポリッシングフェルト 研削砥石	2～3
木材・金属	ブラシ・さび落とし	カップブラシ・研削砥石	3
金属・石材	研削	研削砥石	5
金属	荒研削	研削砥石	5
石材	切断	ダイヤモンドホイール	5

この表はあくまでも参考例ですので、作業の前にテストピースを使用して最適な回転数を選択することをお勧めします。

注

- ・ スピード調整ダイヤル 1～3 で長時間連続作業を行うと、モーター焼損の原因になります。
- ・ スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 5 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1→2→3…5、5→4→3…1 の範囲で回してください。

使い方

電子制御搭載モデルには下記のような特性があり、扱い易くなっています。

定回転制御

作業中負荷がかかっても工具の回転が下がりにくく、回転を維持するので高い作業性が得られます。

ソフトスタート

スイッチレバーを ON にした時、反動を抑えスムーズに回転しはじめます。

過負荷防止機能

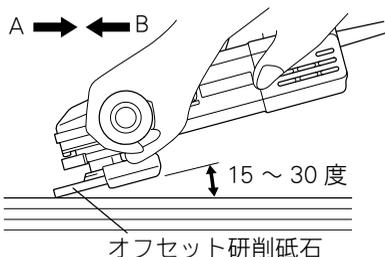
作業中一定以上の負荷が加わると、自動的に回転が下がりますので、モーターや砥石を傷めません。負荷を軽くすれば自動的に再び回り始めます。

研削方法

⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、オフセット研削砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くと、けがの原因になります。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。
- ・ 本機回転部分が材料等に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が完全に上昇したことを確認して作業を開始してください。
- ・ オフセット研削砥石は材料に強く押しつけないでください。
- ・ オフセット研削砥石は約 15 ~ 30 度傾けて、外周部分で研削するようにご使用ください。
- ・ 新しいオフセット研削砥石は、後 (A 方向) に引いて使用してください。前 (B 方向) に押しますと材料に食い込むことがあります。オフセット研削砥石の角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。



別販売品の使い方

ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方

⚠ 注意

ダイヤモンドホイールを取り付けるときは、本機についている矢印とダイヤモンドホイールについている矢印の方向を合わせてください。

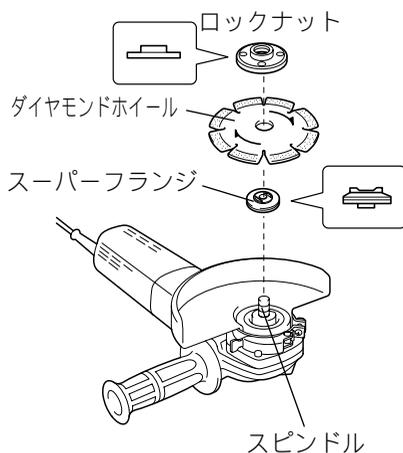
- ・ 矢印に合わせないと、ダイヤモンドホイールの回転方向が逆回転となり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

取り付け方

- ・ ロックナットは研削砥石の取り付け時と向きを逆さにしてご使用ください。
- ・ スーパーフランジをスピンドルに取り付け、その上にダイヤモンドホイールをのせロックナットの凸部をダイヤモンドホイールの反対側にして、スピンドルにねじ込んでください。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。



別販売品の使い方

切断方法

⚠ 警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドホイールの回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くと、けがの原因になります。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。
- ・ 材料の上にベースの先端をのせ、ダイヤモンドホイールが材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしっかりと保持し、ダイヤモンドホイールの回転が上昇し安定したら、ゆっくり前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

別販売品の使い方

サンディングディスクの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

サンディングディスクなどの先端工具の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

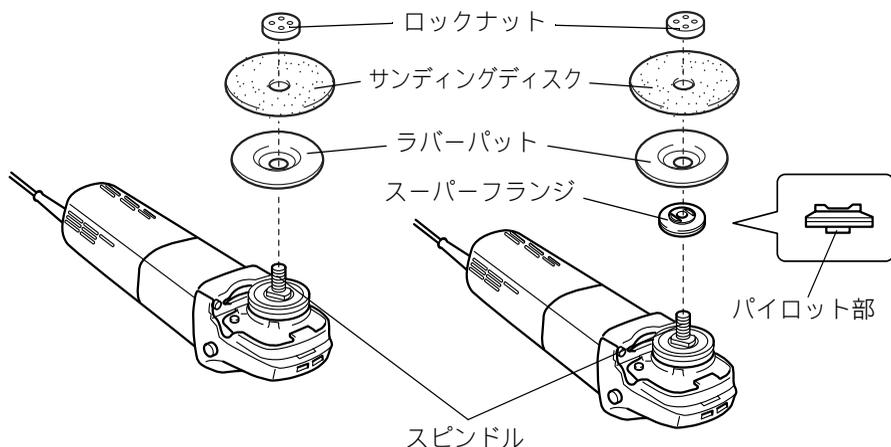
- ・ スピンドルにスーパーフランジ(モデル 9560C,9560CV のみ) →ラバーパット →サンディングディスク →ロックナットの順に取り付けてください。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

モデル 9560C,9560CV

モデル 9565C,9565CV



別販売品の使い方

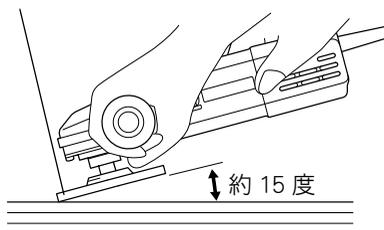
研削方法

⚠ 注意

作業するときは保護メガネまたはフェイスシールドをご使用ください。

- ・ サンディングディスクは全面を被研磨面に当てないで約 15 度傾けた状態でご使用ください。

サンディングディスク



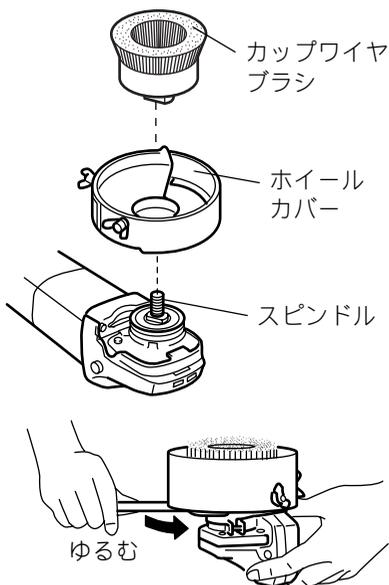
カップワイヤブラシの取り付け・取りはずし方

取り付け方

- ・ ワイヤブラシは、専用のホイールカバーに取り替えてご使用ください。
- ・ 専用のホイールカバーを取り付けて、シャフトロックを押さえながらスピンドルにワイヤブラシをねじ込んでください。

取りはずし方

- ・ シャフトロックを押さえ、22mm の片口または両口スパナをワイヤブラシの切り欠き部にはめてゆるめてください。



別販売品の使い方

切断砥石の取り付け・取りはずし方

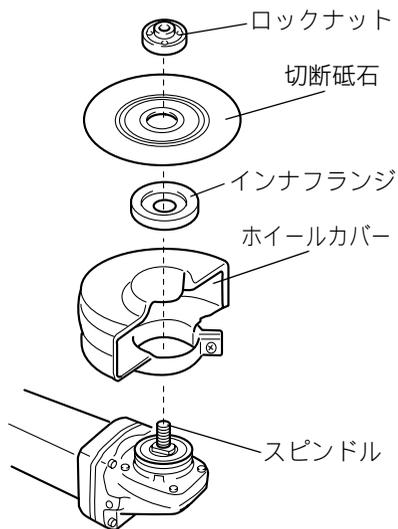
⚠ 警告

切断砥石を使用する場合は必ず切断砥石用のホイールカバー、インナフランジ、ロックナットとベースを取り付けてください。

- ・ 切断砥石が破壊したとき、事故の原因になります。

取り付け方

- ・ 切断砥石は、専用のホイールカバーに取り替えてご使用ください。
- ・ スピンドルに切断砥石用インナフランジ→切断砥石→切断砥石用ロックナットの順に取り付けてください。
※ 内径 20mm の切断砥石をご使用の場合は、インナフランジ 37 (部品番号 224321-8) とロックナット 10-37 (部品番号 224560-0) をご使用ください。
- ・ シャフトロックを押えながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。



取りはずし方

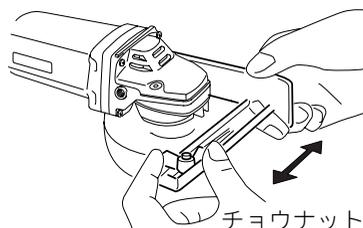
- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

注

- ・ 切断砥石用ロックナットは、砥石の内径 $\phi 15\text{mm}$ のものと $\phi 20\text{mm}$ のものが使用できますので、砥石の内径に合わせてロックナットの向きをかえてご使用ください。

切り込み深さの調整

- ・ ベース取り付け用のチョウナットをゆるめて、切り込み深さを調整してください。



別販売品の使い方

切断方法

⚠ 警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、切断砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。
- ・ 材料の上にベースの先端をのせ、切断砥石が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしっかりと保持し、切断砥石の回転が上昇し安定したら、ゆっくり前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

別販売品の使い方

集じん作業をする場合

- ・ ダイヤモンドホイールを用いて切断作業をする際、本機に集じんアタッチメント、集じん用ホイールカバーを取り付け、当社集じん機に接続すれば、粉じんが飛び散らず清潔な作業ができます。

集じんアタッチメントの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

集じんアタッチメントの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

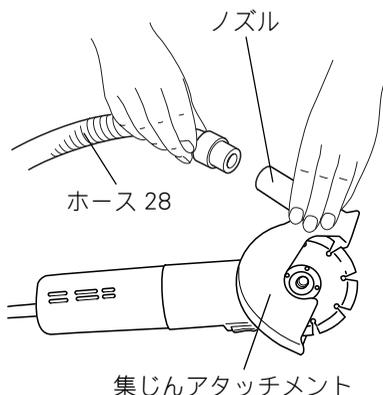
- ・ ベアリングボックスに集じんアタッチメントを取り付け、作業しやすい位置に回してネジをしっかりと締め付けて固定してください。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

集じん機への接続方法

- ・ 集じんアタッチメントのノズルにホース 28 を差し込み、ホースの一方を集じん機のホースに接続してください。



別販売品の使い方

集じん用ホイルカバーの取り付け・取りはずし方 (モデル 9565C,9565CV の場合)

⚠ 警告

集じん用ホイルカバーの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

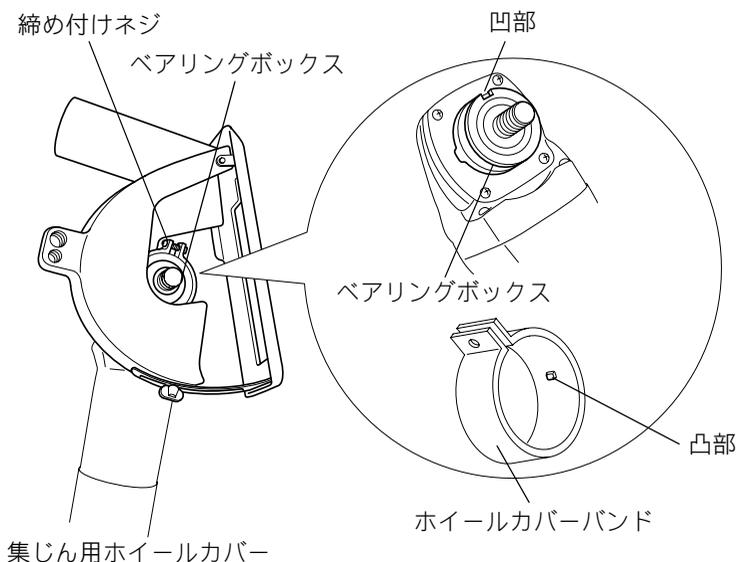
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

- ・ 集じん用ホイルカバーのバンド部の凸部とベアリングボックスの凹部を合わせ、集じん用ホイルカバーをベアリングボックスにはめ込んで下さい。
- ・ ホイルカバーを回し、位置を決め、ネジを締め付けて固定してください。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。



別販売品の使い方

切り込み深さの調整 (モデル 9565C,9565CV の場合)

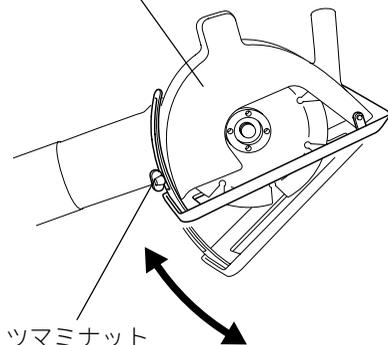
⚠ 警告

集じん用ホイールカバーの切り込み深さの調整の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

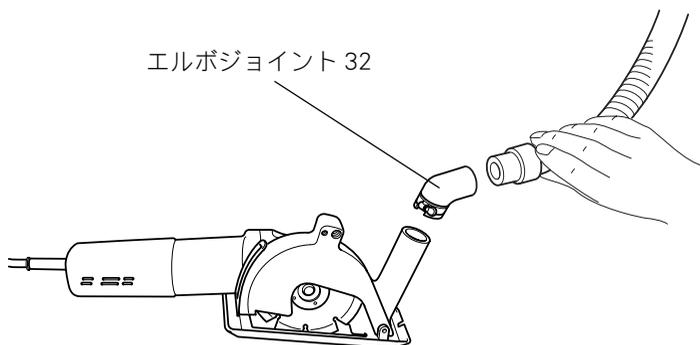
- ・ 本機に集じん用ホイールカバー、ダイヤモンドホイールを取り付けた後、切り込み深さ調整用のツマミナットをゆるめて、切り込み深さを調整してください。調整後はツマミナットをしっかり締め付けて下さい。

集じん用ホイールカバー



集じん機への接続方法

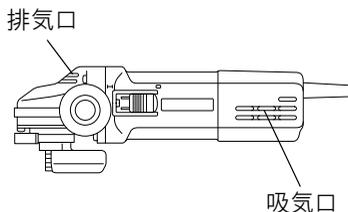
- ・ 集じん用ホイールカバーのノズルにエルボジョイント 32 を取り付け、エルボジョイント 32 の一方に集じん機のホースを接続してください。



⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。
- ・ 本機及び本機の排気口、吸気口にゴミなど付着している場合ははらい落として掃除してください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	関西物流センター	(0725) (46) 6715
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	奈良営業所	(0742) (61) 6484
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	橿原営業所	(0744) (22) 2061
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	和歌山営業所	(073) (471) 4585
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	沖繩営業所	(098) (874) 1222
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	兵庫支店	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	三木営業所	(0794) (82) 7411
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	神戸営業所	(078) (672) 6121
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島営業所	(082) (293) 2231
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	福山営業所	(084) (923) 0960
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	徳山営業所	(0834) (21) 5583
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	松江営業所	(0852) (21) 0538
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (35) 1911	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	松山営業所	(089) (931) 7666
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
関東物流センター	(048) (771) 3451	長野営業所	(026) (225) 1022	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡支店	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (411) 9201
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	福岡営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	一宮営業所	(0586) (75) 5382	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470	長崎営業所	(095) (882) 6112
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881953D0